

臨 床

赤ミミズ酵素サプリメント使用臨床医のコメント集

※書籍「よごれた血管がキレイになる赤ミミズ酵素―

10人の医師が証言する健康回復のすごい力」より抜粋

◎血糖値

(140 ページ～142 ページ)

赤ミミズにより血糖値は「乱高下」しないように改善

小田行一郎 医師

糖尿病の血糖値コントロールには、思わぬ落とし穴があるので注意したほうがいい、と小田先生は続けて教えてくれました。その情報は、美術家であり、また眼科手術では米国でも高く評価されている深作秀春先生（深作眼科理事長）から得られたそうです。「深作先生とは、江部先生の糖質制限で知り合いになりました。この眼科の有名な先生がなぜ糖質制限のセミナーにいたのか。それは、こういうわけなんです。

中高年になると目のトラブルが起こって手術が必要になることも少なくありませんが、糖尿病があると手術ができません。その場合は病院を紹介して、まずは血糖値コントロールを依頼することになります。深作眼科でも、そうでした。ところが、薬やインスリン注射でヘモグロビン A1c の数値が良くなっているにも関わらず、硝子体の出血や眼底出血を起こして緊急手術が必要になる人がとても多い、というのです。なぜでしょうか。

ヘモグロビン A1c は血糖値の1カ月の平均値を表しますが、じつはインスリンを出すタイプの薬による治療だと、服薬や注射のあとは血糖値はガクンと下がるが、そのあとまた急上昇しています。するとヘモグロビン A1c 値が正常範囲でも、じつは血糖値の上下動は激しいということになります。この血糖値の乱高下が、じつは眼底動脈などの細い動脈には著しくダメージになります。腎臓や脳も同じです。しかしそれは、ヘモグロビン A1c の検査数値だけではわからないんですね」

最近では、14日間の血糖値を24時間調べつづけることができる「リブレ」のような検査があります。現実的には、血糖値の平均値だけではなく、いつもどのように変化しているかを見続けることが必要のようです。小田先生は、こう続けます。

「糖尿病の人が徹底した糖質制限をすると、血糖値の上下動がなくなります。また、赤ミミズには DPPIV を阻害することでインスリン分泌をスムーズにさせるはたらきがあるということなので、それが作用すれば食前食後の血糖値の上下動をマイルドにしてくれるでしょう。それは小さな動脈血管を守ることになりますから、間接的に腎臓、眼、脳の生活習慣病の予防にもなると期待できます」